

- ・ 11 月 7 日研修会の振り返り

メールが不達の場合があるためキャリアメールの使用しないよう促す (docomo, ezweb, softbank ドメイン不可)

- ・ ICT・DX 委員会 (デジタル事業支援部)
来年度からデジタル事業支援部の活動開始

ラインワークスでカレンダー管理
新入会の人に年間予定を提示して可視化 (早めのスケジュールの構築を検討)

1. 第 5 回研修会

2022 年 2 月 5 日 (土) 19 時半～22 時半 開催準備
12 月中旬ごろに広報予定

- ## 2. 来年度の事業予定
- 座学研修会 4 回 (オンライン) 実技講習会 2 回

今後、実技講習会は感染状況や感染対策委員会の意見交換しながら進める。

登録理学療法士の実技に対して実技研修がどういう役割をするのか。診断技術、運動の分析、基本的なところを身に着けたい人をターゲットにするか、より専門性の高い知識の獲得を対象にするのか。

内部障害の知識獲得の重要性は高いが、実技展開するのは難しいか？リスク管理・評価までは行っているが、治療までは展開していない。負荷設定や生活への応用の仕方などのアプローチを検討するには (グループワーク?) →今後も内部障害に対しての座学・実技は行うべきと思っている。

カリキュラムコードの振り分け調査

<研修会について>

講習部と分野や講師が重複しないようすり合わせが今後も必要
カリキュラムコードに縛られると受講生のニーズを満たせない可能性あり。

<その他>

県士会員数は減少傾向にある (主に会費、メリットによる影響)
若い会員には費用面の負担で幅広く学べる機会が減っている
タスクシフトが起こってきている
安くて多くを学べて参加しやすい研修が必要
専門性を高める、またより多くを学べる場を提供するにはどうしたら良いか、どのように研修会を行っていく必要があるか今後も検討が必要

Office365 のアカウントが研修部毎に付与されている
資料の共有等を行っていく